

平成28年度 第28回新居関跡整備委員会議事録

- 1 日 時 平成29年3月17日（金） 午後1時30分～午後2時30分
- 2 場 所 新居地域センター南小会議室
- 3 出席者 整備委員 渡辺和敏委員 向坂鋼二委員 箱崎和久委員
金原孝宜委員 （欠席委員）寺田敏幸委員
事務局 落合進（教育次長）切池融（文化課長）
松山智次郎（文化財係長）鈴木紀子（文化財係）
- 4 議 題 ①平成28年度事業について
・裏御門復元整備工事
・関所構内防災設備基本計画策定
②平成29年度事業計画について
・女改之長屋復元整備工事実施設計
・関所北区域排水整備工事
③その他 関所整備復元の新聞記事・人事異動について
現地確認（裏御門）
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者 無

【開 会】

あいさつ

- ・委員長
- ・教育次長

【議 題】

1 平成28年度事業について

※事務局より平成28年度事業について説明

- ・裏御門復元整備について

（事務局）裏御門の復元にあたっての課題となったのは、目論見帳にある釘の本数と長さが非現実的な工法であったこと。それをどのように解釈をするか建築専門部会で検討してもらい、復元を行った。

（委員）文献の解釈をいいとこどりの解釈をしてしまうことになるので、慎重に建築専門部会で検討し、現実的な工法で復元を行うが、今後復元報告書にその検討経緯と解釈を記録することとした。

（委員）箱錠は当時から現物があったものか？

（事務局）箱錠は目論見帳にも記載はある。当初予算をオーバーしたた

め、設計からはずしたが、釘の予算が減額できたので、本来ある箱錠を設置することができた。設置した箱錠は、オーダーメイドではなく、既製品であるが、大きさ6寸と目論見帳のサイズとほぼ同じものである。

(委員) 釘の打ち方であるが、互い違いに打ったと考えられないか。

(事務局) 目論見帳ではそのような記述は見られない。また正面からの見栄えを考えると考えにくいのではないか。

・構内防災設備基本計画策定について

(事務局) 従来の貯水槽は老朽化しているうえ、水量も足りない。

水道管直結方式にするが、水道管も古く東日本大震災クラスの地震のときに、抜けるかもしれないので、現在の貯水槽の中にR Pをいれ、水のタンクを入れ貯水タンクとする。

水量については、水道管直結方式に変更する。女改之長屋や土蔵などもカバーできる防火設備になる。

(委員長) 貯水槽はいつごろ設置か。

(事務局) 30年ほど前。昭和50年代でコンクリート製。

(委員長) 委託業者は。

(事務局) 文化財コンサルのウッドサークルが計画策定。

(委員) 大御門の歩道のところの消火栓は使うのか。

(事務局) 使用する。

(委員) 今年度どういった理由で防災計画を策定したのか。

(事務局) 今後、女改之長屋の整備が進み、だんだんと復元建物を建てる計画である。その全体の復元が始まる前に、配線配管等の計画をあらかじめ策定する必要があるため。

(委員) 史跡の補助金の対象か。

(事務局) そうである。

(委員) 今後、トイレと散水栓はどうするのか？

(事務局) 将来的には廃止する。トイレは史料館と駐車場にあるものを使用し、散水栓も樹木を北側に移植したので、なくても問題はない。史料館と北側には散水栓はある。

2 平成29年度事業計画について

※事務局より平成29年度事業について説明

・女改之長屋復元整備工事実施設計について

(委員長) 女改之長屋は2家族が居住する家とのことであるが、女改めは足軽の妻が行っていた。休憩所のようなもので、通勤ではなかった

か。本百姓より身分は低いとはいえ、間取りがかなりせまい。

365日寝泊りをしていたのか、かわいそうな気がする。また女改之長屋は29年度実施設計であるが、1ヵ年で作れる建物ではないか。

(事務局) 財政上の制約もあり、少しずつ進めている。

(委員) 熊本地震により国の補助金も40%カットであるので、いたし方ない。

(事務局) 詳細については、建築専門部会に諮っていく。

・関所北区域排水整備工事について

(委員長) 北区域排水設備の内容について詳細説明を

(事務局) 勾配をつけて暗渠をいれて、北側の排水溝に流す。

(委員) 遺構面に影響はないのか。

(事務局) 遺構は40センチ以下。それを傷つけない深さで暗渠を入れる作業を行う。

(委員長) もともと埋め立てであったので、水はけが悪い。

J Rの線路が高くなっていることが影響しているのか。

(委員) 面番所に向かって水が流れてくるのか。

(事務局) 北側に向かって水は流れていく。植栽の土盛りが土手状になっている。北側の芝生や柵の腐りが早い。

(委員長) 昔はドブ川があった。

(委員) 渡辺町長の家から西から東に川があった。

(事務局) 補助金は、実施設計と工事を行うことが条件であるため、

29年度は排水設備工事を行う。土蔵の実施設計時には、防火壁を取り壊す工事を考えている。

(委員) 整備がストップしているわけではない。段々と目に見えて進めていくことが大切。今後の復元予定の新聞記事が本日あるが、今回の裏御門復元も新聞等に掲載し、PRをした方がよい。来客につなげることが大切。また古文書を読み下しができ、史料に精通している切池さんが他の課に異動してしまうとのことだが、今後も委員会には来ていただきたい。

(事務局) 可能である。

(委員) 大御門の高札は何を書いてあるのか、来場者では理解しがたい。現在、スマートフォンのアプリをかざすと説明が画面にでるものがあるのでしょうか。

14:30 会議終了後、現地確認 15:20 分解散